

## 第1回 忠岡町廃棄物減量等審議会専門部会

### 議 事 録

- 開催日時** 令和3年12月24日(金) 10:00~11:30
- 開催場所** オンライン形式
- 出席委員** (1) 学識経験者  
小野田委員、大下委員  
(2) 民間諸団体代表  
松阪委員、上ノ山委員、萬野委員  
(3) 町長委嘱委員  
勝元委員、河野委員、三宅委員 以上8名
- 欠席委員** 0名
- 事務局** 谷野住民部長、藤原生活環境課長、上田主幹、石橋主事
- 傍聴者** 0名
- 議 事** (1) 議案第1号 部会長の選出  
(2) 報告第1号 忠岡町一般廃棄物処理基本構想(案)について
- 配布資料** (1) 会議次第  
(2) 忠岡町廃棄物減量等推進審議会専門部会委員名簿  
(3) 一般廃棄物処理基本構想(案)

(事務局) 只今から第1回忠岡町廃棄物減量等審議会専門部会を開会します。本日の専門部会は、オンライン方式にて開催をさせていただき運びとなりました。委員皆様にはご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

開会に先立ちまして、本審議会松阪会長より、ご挨拶をお願いいたします。

<松阪会長 開会の挨拶>

(事務局) 専門部会委員の紹介ですが、オンライン会議ということもあり、委員名簿にて変えさせていただきたいと思います。

(事務局) 本日、傍聴希望者はございませんでした。

本日の資料ですが、会議次第、出席者名簿、忠岡町一般廃棄物処理基本構想(案)の3点となります。画面に基本構想を要約したパワーポイントを表示しますのでそちらをご覧くださいと存じます。

本日の出席状況ですが、委員8名全員出席いただいております。審議会規則第5条第2項の規定を準用し、本専門部会が成立していることを、ご報告します。

(事務局) それでは議事に入らせていただきます。議事の進行は部会長が決まるまでの間松阪会長をお願いしたいと存じます。

(会長) 議案第1号「部会長の選出について」、今回が初めての専門部会になりますので、部会長の選任を議題とします。審議会規則第5条の2第3項の規定で部会長は委員の互選により定める事になってはいますが、審議を円滑に進めるため私より推薦させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員) 異議なし。

(会長) ご異議がありませんので、私より推薦させていただきます。

部会長に、本審議会の副会長で、早稲田大学理工学術院 大学院環境エネルギー研究科教授の小野田委員をお願いしたいと存じますが、ご異議ございませんか。

(委員) 異議なし

(会長) ご異議がありませんので、議案第1号「部会長の選出」については、小野田委員に決定しました。

<小野田専門部会長就任の挨拶>

(部会長) 報告第1号「忠岡町一般廃棄物処理基本構想(案)」について事務局から報告をお願いします。

<事務局報告>

(部会長) それでは委員皆様のご意見、ご質問をお伺いします。

勝元委員、どうぞ。

(委員) ごみ処理体制の中で「集団回収」があるが、行政の方が主導でしているのか、自治会の方がやっているのか、或いは委託をして補助金をだしているのか。

(事務局) 本町は行政回収をしておらず、自治会が集めそれに対して補助金をだしているという状況です。これについても、今後どうしていくのか調査・検討していく必要があると考えています、計画書にはもう少し詳しく記載します。

(部会長) 河野委員、どうぞ。

(委員) 17ページに、事業系ごみ(持込み)が多くなっていると書いているが、要因は何ですか。

(事務局) 確認して次回報告します。

(委員) 一般家庭ごみはコロナウイルス緊急事態宣言下で、家の片づけをした人が多いと理解している。事業系ごみについて、忠岡町には(福祉)施設が多く、紙おむつが出たのも要因の一つですか。

(事務局) 紙おむつは一般廃棄物として出されているかと思いますが、確認をします。

(委員) 住民にごみの減量化をお願いしているところですが、事業者の努力も必要ではないかと思います。

(部会長) 勝元委員、どうぞ。

(委員) 堺市では、施設から出るおむつは、事業系一般廃棄物として処理しています。事業所によっては、産廃処理業者や医療系関係専門業者に委託しているところもあります。

(部会長) 補足情報ありがとうございます。一般論ですが、事業系は減って家庭系が増えています。事業系の中でも増えた所、減った所、両方あると思います。例えば、コンビニ等は増えて飲食店は減った等、ごみがどういうところから持ち込まれているのか等の情報とセットで見ただけであれば、河野委員の質問の糸口が見えてくると思います。

(部会長) 大下委員、どうぞ。

(委員) 13ページの住民意向で「広域化を積極的にすすめていくべき」とありますがどの位の人数から回答を得ているのか、また、世代や年齢層の情報はありますか。

(事務局) 昨年策定した総合計画のアンケートで、手元に資料はなく詳細は把握しており

ませんので、後日報告します。

(委員) わかりました、アンケートに回答する人は年齢層に偏りがあると思ってまして各世代の均等な意見が反映されているのか懸念しています。もう1点は予算のところで令和2年度、焼却施設を改修されて金額が上がっているとの説明でしたが具体的に焼却施設のどこを改修されたのか、また今後このような維持をしているとすると、どのポイントにお金をかけていかなければならないのかという情報は如何か。

(事務局) 令和2年度は耐火物の改修を全面的に実施しました。また、ガス冷却装置など外部はそのままで、内部の装置をほぼ入れ替えた状況です。

(委員) 改修している間、廃棄物処理はどうされてましたか。

(事務局) ごみピットに14日分程度貯留可能で、工事期間中は貯留していました。

(委員) 外部に委託しなかったのですか。

(事務局) これまで外部に委託したことはありません。

(委員) 22ページ、可燃ごみの組成分析結果がでておりますが、事業系ごみと家庭系ごみが均一に合わさっての結果なのか、あるいは家庭系のみなのか。

(事務局) ごみピットに入っているもので、事業系ごみと家庭系ごみを合わせたものです。

(委員) 近年紙類が減って厨芥類が増えていますので、そのあたりの情報があればまた教えてください。

(事務局) また調査させていただきます。

(部会長) その他いかがでしょうか、三宅委員お願いします。

(委員) 23ページ、ごみ排出量の達成状況の評価のあり方ですが、令和3年目標と令和2年実績とを何故比較しているのか。

(事務局) 令和3年はまだ集計出来ていませんので、集計出来ている1年前のデータと比較しています。来年、基本計画を策定する際には、目標令和3年度に対して、実績令和3年度を記載していきます。

(委員) 5年前から人口がかなり変わっている、年度を合わせた達成状況を記載しなければ評価としてフェアでない。人口比例していると説明していたのでその辺りを加味した評価をした方が、わかり易いのではないかと思います。

(事務局) この基本構想は大きな考え方を整理していくもので、来年基本計画策定時には、

人口変動の状況や社会情勢の状況を分析しながら次のステップにあたる目標を設定していきたいと考えています。

(委員) どれくらいごみを減量すれば経費が下がるのかがわからない、計画書にわかりやすく記載できないか。

(事務局) ごみ処理経費の削減は、ごみ処理システムと密接な関係があります。今後少子高齢化、人口減少が進んでいくと予測されており、そうなれば財政規模も小さくなり、ごみ処理にかけられる費用も少なくなってくると思われれます。

また、現在ごみ焼却時のエネルギーを活用できていません。世界中でカーボンニュートラル、脱炭素化の目標を抱えている中で、小さい自治体ですが忠岡町はどのように対応していくのか、そういったごみ処理システムを考えていく必要があるのかと思います。近隣にはエネルギーを有効活用している廃棄物処理施設がございます、そこに委託していくのも一つの手法かと思います。

忠岡町単独での施設建て替えは、国の交付金制度があり本町の規模では補助金ができません。PPP/PFIを活用した事例も全国ではありますので、新しいごみ処理システムを考えていく必要があると考えています。

(委員) 広域化に向けての布石と考えていけばいいですね。

(事務局) 色々なごみ処理システムを、調査する必要があると思います。現状のごみ処理システムをこのまま続けるのか、近隣の広域処理組合に委託したらどうなのか、民間と連携していったらどうなのか調査する必要があると考えます。この3点を比較検討しながら忠岡町として一番望むべき姿を検討していければと考えます。

(委員) もう少し答えがキュッとしていればわかりやすいのですが。

(部会長) ごみ処理費用が高い原因となっているのはクリーンセンター費で、老朽化して規模が小さくエネルギー回収も出来ていないので高くなっている。ごみの減量してもコストが減るとはあまり思えない、分別することはコスト増にもなる。

主たる要因はクリーンセンター費で、これをどのオプションで下げていくのか先程から部長が説明されているので、ご理解いただければと思います。

(委員) 清掃総務費は高くなっているが、ごみの量は減っている。ごみを減らしたからコストが安くなるとは言えないですね。

(事務局) 収集業者にも協力頂いており人件費や燃料費等コスト増の要因はありますが、総額は抑えています。今後人件費が上がれば、委託料も増えると思います。

(委員) 議会においても、ごみ量は減っているが費用が高くなっているという質問があります、一般住民もそう思っています。

(部会長) ごみ量だけで清掃総務費が減るという関係になっていないと思います。抜本的なやり方を変えない限り無理だと思います。今後、理解を深めていければと思います。

(部会長) 萬野委員お願いします。

(委員) 5年前、別の委員をしている時に、岸貝清掃や泉北環境に委託してはどうかと提案しました。自治体間の問題はあると思いますが、一番の問題はクリーンセンターに係る費用をいかに抑えられるかで、抜本的に変えていく必要があると思います。また、生ごみの資源化ではコンポストを配布するという案が出たと思うが、それをどこに持っていくのか。忠岡町では家庭菜園とかの行き先がないので、生ごみを資源化するのは限界があると思います。

もう1点、廃プラの問題ですが、コロナ禍で巣ごもりの状況が増えています。廃プラは資源化し、エネルギーとして燃やしており、それも再利用だと思います。

次回は他の自治体の一人あたりの処理費用を計画書に記載していただければと思います。

(事務局) 生ごみをメタンガス化するなど技術は進歩しています、色々な処理方法について先生に先進事例を教えてくださいながら、調査を進めていきたいと思います。

容器包装プラスチックにつきましては、費用をかけて燃料化しています。ごみ処理費用の報告書への記載については、表現を工夫していきます。

(委員) この小さな町で、どのような焼却炉が相応しいのか教えてほしいと思います。自前で持てるのであれば、どれ位のものがあるのかも含めてお願いします。

(部会長) 前提条件を揃えていかないと難しい。先程部長が回答していたように、行政が単独で小さい炉を建てる場合、国の支援がないので、技術論だけでは整理できません。色々な方法がありますので、お時間いただければ整理し情報提供できればと思います。

(部会長) 勝元委員どうぞ。

(委員) 本町にとって何が一番重要になっているのか、経費、老朽化、減量、リサイクル等々、今後この会議を進めていく中でもう少し細分化し、委員が考え易い方向を示していただければと思います。

(事務局) これまで廃棄物について話し合う場が少なく、まずは現状を理解していただきたいと考えています。一点目は泉北環境整備施設組合との協議で、広域化になった場合どのようになるかを調査しています。二点目は民間の資金やノウハウで、新たな公共事業を展開していく手法が全国でおこなわれています、こうした形を廃棄物の分野で活用できないか検討を進めており、今回はもう少し掘り下げた説明をさせていただきたいと考えています。

(部会長) 色々と課題解決が必要で、ここを解決しないとごみ処理が継続できないリスクを抱えていると思いますので、前段のところと、今見せていただいた資料を整理していただけたらと思います。

(部会長) 上ノ山委員どうぞ。

(委員) ごみ問題は主婦が頑張らないといけない。ごみは少なくなり粗大ごみもスムーズに処理出来ているようで、現状のまま焼却は続けられないか、或いは泉北環境に持っていくのか、新たな処理先を見つけるのか、その問題だと思います。毎日ごみは出ますので主婦は大変です、主婦が家庭を守るため快適な生活ができますよう希望します。

(事務局) 廃棄物減量や収集において、全国で先進的な取り組みをされている自治体がありますので、そうした情報をこの審議会でお示しできたらと思います。

(部会長) 松阪会長どうぞ。

(委員) 今まで意見を聞かせていただき感じたことですが、ごみ減量化をすすめていく方が効果あるのか、それとも処理に係る費用が高いのでクリーンセンターの改修等をすすめていく方が効果あるのか、今後勉強していきたいと思います。

(部会長) わかりやすい資料を、お示しできるようになればと思います。

(部会長) 河野委員どうぞ。

(委員) パブコメをしていただきたいのですが、他のパブコメを見ていると期間が短いので、周知期間を十分確保していただけるようお願いします。

主婦は減量にかなり頑張っています、事業系ごみが増えてきていると考えられるので、そこを減らしていかないとごみ減量にはならないこと。

広域化の話は避けて通れない、4～5年前に広域化していないといけなかった、自治体で焼却炉を持つ方が理想だと思いますが難しくなっている。広域化に向け、忠岡町のごみ質の改善が求められるのではないかと思います。

(事務局) パブリックコメントについて、基本計画では行いますが、基本構想についても何らか住民に周知する必要があると思っています。期間は出来るだけ長く確保したいと思っています。

事業系ごみは、もう少し分析が必要と思っています。クリーンセンターでも、ごみの持ち込みに対して厳しく対応しており、不法なごみは入っていない状況です。どのような事業系ごみが入って来ているのか、分析していきたいと思っています。

(部会長) もっと前に広域化しておくべきだったんじゃないかと言うご指摘です。

(事務局) 過去は振り返れません、忠岡町にとって一番良い方向に進んで行けたらと思います。

(委員) これまで広域に入れなかった諸事情は、議会で説明はありましたが、クリーンセンターを長寿命化するとコスト増になり、今後修理は望ましくない。広域化をすすめてほしい。

23ページ、粗大ごみ不燃物とは何なんですか。

(事務局) クリーンセンターに収集された粗大ごみのうち、燃やせるものは解体して焼却しています。燃えないものは、民間に委託し処分しています。

(委員) これも減らしていかないと、費用がかかりますので。

私は紙ごみが多いと思っています、集団回収に出していただくという周知がもっと必要です。

ごみの水分が多いと分析されていました、水分もなかなか減っていないように思うのですが、どのように減らしていくのか。また、プラスチック製容器包装の他、更なる資源の分別の検討とあるが、どのような検討をされているのか。

(事務局) 水分はかなりあると思います、クリーンセンターでごみがピットに投入される際に大量の水分が出ていました。他市の施設もいくつか見てきましたが、状況はよく似た状況でした。以前水切りネットを使い水分を絞り出して頂くという活動をしたことがありますが、こうした活動は今後も必要かと思っています。

また、更なる分別については、色々な自治体でリサイクルセンター的なものを運営されており、ピンを色別にする等、再資源化しやすいように分けているところがあります。これはごみ処理コストと逆行するかもしれませんが、資源化率をあげていく面では重要な取り組みであると思っていますので、調査、研究をしていきたいと考えています。



(委員) 水分については住民も努力しているので、事業系ごみを減らしていただくことと、監視カメラが今年度予算に出ていましたが、どのような状況でしょうか。

(事務局) 監視カメラの機材は購入し、どのように活用するか検討してまいります。

(委員) 監視カメラについては数年前から言っております、違法なごみの持ち込みがあるといけませんので早くお願いします。

(事務局) いくつかの施設を見てきました。違法なごみを持ち込む人はトラック荷台の下の方に違法なごみを入れ、上には正常なごみを入れるので、怪しい人が来たら展開検査でごみを広げて探さないと見つかりません。単に入口にカメラを設置しただけでは目的は達成できないと思っています。カメラだけではなく違法ごみの搬入をどうすれば防げるのか、全体的に防止策を講じていくという観点から、現在定まっていないところです。

(部会長) 2点コメントさせていただきます、三宅委員からあった目標値の話ですが、前回計画からの推移を見ていただくのも結構ですが、人口一人あたりで見れば良いと思います、比較した時に令和2年度はコロナの影響もあって統計的に使えないのでは、ということがありますが、一般的なやり方です。

もう1点はプラの問題、現在プラ新法の関係で新たな分別は自治体側から難しいという声が多くなっています。ただ、構想の中には記載しておいた方が良いでしょう。

今日の話題にありませんでしたが、リチウムイオン電池の火災が問題で、施設、ごみ収集車で頻繁に起きています。排出側の高齢化が進んでくると分別が難しくなっていく中で、監視を強化していかなければならないという話も出てきていますので、その辺のポイントは押えておいた方が良いでしょう。

(部会長) 今日の議題は以上ですが、みなさんの意見を聞いていますと、もう少し踏み込んだ議論をしていく方が発展していくのかなと、またそれをどのように対外的に発信していくのか整理する必要があると思います。町として考えている問題点と具体的なイメージを出していった方が良いでしょう。

本日の議題は以上ですので事務局にお返しします。

(事務局) これをもちまして令和3年度忠岡町廃棄物減量等審議会第1回専門部会を閉会致します、本日は有難うございました。

( 午前11時30分終了 )